

種子屋久通信

春の「郷土に学び・育む青少年運動」

令和3年3月11日（木）～4月10日（土）強化月間

春は、卒業・進学・就職など、青少年にとって人生の節目となる貴重な経験をする大切な時期である。青少年の生活環境が変わるこの時期に、家庭、学校、職場、地域及び関係機関・団体が緊密な連携を図りながら、「郷土（ふるさと）に学び・育む青少年運動」を積極的に展開し浸透させることにより、鹿児島県の古くからの伝統である地域で青少年を育てる気風を盛り上げ、郷土に根ざしたグローバルな人材を育成しましょう。



運動の進め方



☆家庭

「早寝早起き朝ごはん」国民運動の実践など、基本的な生活習慣の育成に努めるとともに、「家庭の日」（毎月第3日曜日）・「育児の日」（毎月19日）を中心に、家庭の語り合いや親子のふれあいを実践する。

☆学校

学校を中心に、家庭、地域、関係機関・団体等と連携し、児童・生徒の地域活動への参加を推進するとともに、生徒指導・安全指導の充実に努める。

☆関係機関・団体等

行政と民間団体等が緊密に連携し、地域ぐるみで青少年を育む気運を盛り上げ、活発な青少年育成活動が展開されるよう運動の推進を図る。

☆職場

「ワークライフバランス」を推奨し、勤労青少年に働く喜びを与える職場づくりに努めるとともに、「家庭の日」、「育児の日」の子どもへの関わりや「青少年育成の日」（毎月第3土曜日）等に行われる青少年育成活動への参加を奨励・支援する。

☆地域

「青少年育成の日」を中心に、かごしま地域塾や子ども会活動など地域の特色を生かした青少年育成活動を支援・実施する。

☆期間中→他機関の関連運動とも連携を図る

児童・生徒の春休み期間を含むことから、非行防止や各種事故防止及び令和3年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」（2月～5月）に関する取組についても重点的に推進する。

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」です。
（青少年は、未来の社会を創造する原動力です。）



毎月第3日曜日は「家庭の日」です。
（家庭は、子どもの人格形成の基盤です。）



マサチューセッツ州の母親が13歳の息子にスマホを与える際、息子に迫った

18の約束

- ① このiPhoneはママが買ってあなたに貸している。ママの言うことを聞くこと。
- ② パスワードはママが管理する。
- ③ これは電話。パパやママの電話には必ず出ること。
- ④ 学校がある日は午後7時半、週末は9時には電源を切って、親にあずけること。
- ⑤ 学校に持って行ってはいけない。メールする友だちとは直接話さない。
- ⑥ 破損したり紛失したらあなたの責任。自分のお金で修理・弁償する。
- ⑦ ウソをついたりバカにしたり、人を傷つけることにテクノロジーを使わない。
- ⑧ 面と向き合って言えないことはメールしない。
- ⑨ 友だちの親の前で言えないことをメールしてはいけない。
- ⑩ アダルトは禁止。情報は私と共有。知りたいことは私かパパに聞いて。
- ⑪ 公の場では電源を切るかマナーモードにする。
- ⑫ 体の大事な部分の写真をやりとりなどしないこと。消すのは難しい。
- ⑬ 写真やビデオのすべてを記録する必要はない。自分自身の体験を大切に。
- ⑭ ときどき家に置いていきなさい。携帯なしでも暮らしていける。
- ⑮ いい音楽をダウンロードして聴きなさい。視野を広げなさい。
- ⑯ ゲームは、ワードゲームやパズル、知能ゲーム(脳トレ)だけ。
- ⑰ 上を向いて歩きなさい。周囲の世界に目を向けなさい。会話をしなさい。グーグルで検索をしないで思考しなさい。
- ⑱ 約束を守れなかったら没収します。そうになったらもう1度話し合い、はじめからやり直し、一緒に学んでいきましょう。「面と向かって言えないことは、メールしない。」、「人をだましたり、バカにしたりするのは禁止」、「誰かを傷つけるような会話には入らないこと。」

大人がやらなければ、いけないこと



サイトフィルタリング



アプリフィルタリング



OS上での制限機能

ペアレンタルコントロール



ペア 親子と一緒に
レンタル 親が購入して貸し与える
コントロール 間違った使い方や危険な目に遭わないように誘導する。
 ただ買い与えるのではなく保護者が自ら正しい使い方を教えること。



ネットトラブル等の未然防止の相談役

安心ネットサポーター
養成講座

2018年日本郵便年賀寄付金の
助成を受けて制作しました

(※この冊子より抜粋)

西之表市立種子島中学校の取組

文科省「教育のICT化」
ICTを活用した授業をご紹介します

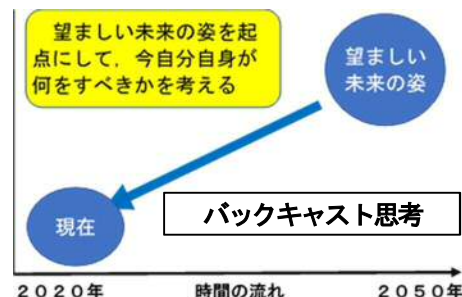
「キャリア教育」の取組・・・芝浦工業大学と連携した授業の実施

県教育委員会「キャリア教育」研究協力校の指定を受けている種子島中学校では、「総合的な学習の時間」に「にしのおもて未来ワークショップ」を主催している芝浦工業大学と連携した授業を行っている。

今年は、新型コロナウイルスの影響により、打合せから授業まで、Z o o mを使ったオンラインで行った。授業では、大学ならではの専門的観点から、生徒に「バックキャスト思考

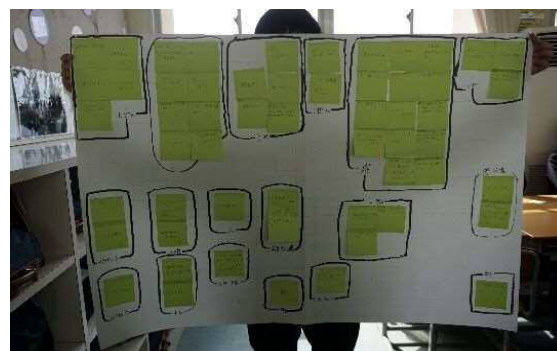
(未来として望ましい姿を、未来からさかのぼって考え、思考すること)」で、将来の種子島の課題をSDG s (持続可能な開発目標) 等に照らして考えさせている。

今年度は3回に渡って、「未来の種子島がより良い、持続可能な地域になる」というビジョンに対して、情報を収集し、議論を行い、未来から今の自分を見つめ、「2050年の種子島のために、これから自分自身が何をしていくべきなのか」ということについて考える授業を行った。生徒がZ o o mを使って、芝浦工業大学の先生方と双方向のワークショップに取り組むことで、「自分の考えを持ち、自分の言葉で表現する力」が身に付いてきている。



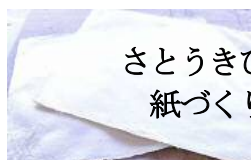
○ 芝浦工業大学と連携した授業 (年3回)

回	月 日	学 習 内 容	対 象
1	7月16日	未来の社会について考える	1～3年
2	9月16日	未来の自分とSDG s	1～3年
3	2月25日	種子島の魅力・惜しいところ	2年



芝浦工業大学とのオンライン授業の様子

【西之表市】



さとうきびを使った
紙づくりに挑戦 (安納小学校)

12月15日(火)から2日間にわたり、安納小の児童がさとうきびの搾りかす(バガス)を使った紙づくりを行いました。

紙を作る一連の過程で、児童は協力し合い、手際よく作業を進めていきました。



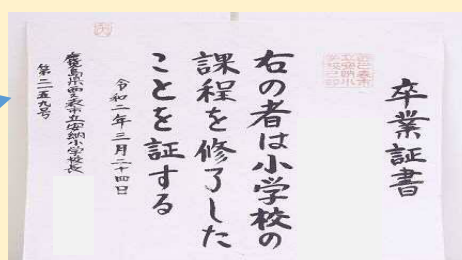
不純物を取り除いています



しおさい留學生の前田大翔君(5年)は、「種子島に来て初めてさとうきびを見た。きれいな紙を作るために、鍋で煮たバガスから黒い不純物を取り除く作業が楽しかった」と話しました。

今回作った紙は、卒業証書に使用されます。

これは令和二年のもので
す。



～「家庭の日」入賞作品が熊毛地区で展示されました～

期間：令和3年1月9日(土)～22日(金)
場所：プラッセだいわ種子島店(西之表店)

県内の入賞作品 85 点が
西之表市で展示され、多
数の方々にご覧いただき
ました。



毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。



子育ての悩みがあるときは、最寄りの市町村の子育て相談窓口
または児童相談所全国共通ダイヤル「189」にご連絡ください。



育成活動の紹介



【西之表市】

☆「第7回親子野外炊飯体験：段ボールオープンでピザを焼こう！」ふるさとまなび〜隊

1月23日（土）に令和2年度第7回ふるさとまなび〜隊活動を実施しました。

今回の活動は、「段ボールオープンでピザを焼こう！」と題して、親子での野外炊飯体験を実施し、7家庭15名の児童と保護者が参加してくれました。

炭火を起こす作業以外は、全て各家庭の手作りでピザを焼き上げました。段ボールとキッチン用アルミパネル、長方形の焼き網を使つての「段ボールオープン」作りから始まり、ピザ生地の手こみ、生地の発酵まで行い、各家庭それぞれが本格的なピザを焼き上げることができました。各家庭の作業場所も間隔をあけて距離を取るなど、感染症対策も講じながら、親子で協力してモノづくりを行う充実した活動となりました。



これだけで本当に焼けるの？



チーズたっぷり！
美味しそう・完璧



親子で仲良く共同作業

【中種子町】

☆「ラジコンホビー展開催」D-CRAFT × 歴史民俗資料館コラボ企画

中種子町立歴史民俗資料館では常設展示物の長期貸出に伴い令和2年12月5日（土）から令和3年3月28日（日）まで、島内のイベントにてラジコン体験で活躍されているD-CRAFTとコラボした企画展「ラジコンホビー展」を開催し、島内外から約150の方が来館しました。

また期間中は月1回「ラジコンレース体験」を実施し、5歳から80歳までの参加者が白熱した本格ラジコンレースを体験しました。参加者は日頃あまり経験できない本格的な大人のラジコンを楽しんでいました。



種子島こりーな駐車場で大人も子どもも白熱レース！



スタート。みんな真剣・誰が一位になるかな！

令和2年度屋久島町青少年問題協議会が開催されました。

令和3年2月5日（金）屋久島町役場事務棟2階会議室において、令和2年度屋久島町青少年問題協議会が開催されました。各所属の「青少年育成町民会議」における取組状況について事務局より報告がありました。その後、屋久島警察署（小山真吾氏）より、屋久島町内の青少年補導の現状と課題が話されました。

意見交換では、「屋久島町はあいさつ日本一」になったが最近コロナ禍でマスク着用のためか、あいさつ運動が緩んできているように感じる。大人がどこでもあいさつしている姿を見て子は育つし、声に出してあいさつすることでコミュニケーション能力がアップする。あいさつは基本、色んな起爆剤にもなるし、子どものよい環境づくりになるので今後もさわやかあいさつ運動を推進して欲しい等、様々な意見がでて、参加者全員の共通理解が図られました。



会議の様子



会議の様子

熊毛地域青少年推進協議会の主な行事の実施報告

- 毎年7月に開催している熊毛地域青少年育成推進協議会：熊毛支庁開催（書面開催）
- 令和2年12月17日（木）熊毛地域青少年環境づくり懇談会：屋久島町開催（中止）
※屋久島町において新型コロナウイルス感染症患者が確認されたことにより、感染拡大防止のため開催を中止し、関係者に資料送付で対応した。
- 令和2年12月24日（木）熊毛地域青少年育成指導者研修会：熊毛支庁開催（中止）
※西之表市において新型コロナウイルス感染症患者が確認されたことにより、感染拡大防止のため一度延期したが、今年度は開催が困難と判断し中止した。

新型コロナウイルスが早く終息することを祈り、
来年度は開催できることを願いたい。

